

ニュースリリース

2011年12月1日(RAC11/12-7)

## カリフォルニア・レーズン協会 駐日事務所設立 50 周年記念レセプション 「感謝の夕べ」を開催

カリフォルニア・レーズン協会本部(所在地:米国カリフォルニア州フレズノ市)およびカリフォルニア・レーズン協会駐日事務所は、今年で日本におけるカリフォルニア・レーズンプロモーション活動開始より 50 年目を迎えました。関係者の皆様に 50 年の感謝を直接お伝えするために、米国カリフォルニアより、レーズン産業業界および協会本部より約 20 名の代表団が来日し、11 月 15 日(火)、「感謝の夕べ」を東京アメリカンクラブにて開催いたしました。

レセプションには、カリフォルニア・レーズンを日頃よりご愛顧いただいている取り扱い企業、プロモーション活動にご支援頂いている関係団体・協会の方々をお招きし、これまでの 50 年の歴史を振り返りました。また、これまでに当協会が主催した、ベーカリー新製品、洋菓子、和菓子、および料理などの各種コンテストの歴代入賞者 140 名弱が一堂に会し、列席者は総勢約 300 名にのびりました。

開会に際し、当協会本部長 クリス ガンランドは、「これまでの 50 年、長きにわたり、各業界においてカリフォルニア・レーズンをご使用いただいた皆様のご支援に対し、カリフォルニア・レーズンの生産者、パッカー各社を代表して、心からお礼申し上げます。これからの 50 年も質の高いカリフォルニア・レーズンを引き続き皆様にご提供してまいります。」と感謝の意を述べました。



挨拶をするカリフォルニア・レーズン協会本部長 クリス ガンランド

続いて、来賓の在日アメリカ大使館経済担当公使 マーク ウォール氏は、「カリフォルニア・レーズン協会は、米国カリフォルニア産の高品質で栄養価の高い商品を日本の消費者に届ける取り組みを熱心に、そして成功裏に行ってきたパイオニア的存在」と評し、カリフォルニア・レーズンの日本市場占有率が 90%に達したことに触れながら、「日本の業界とカリフォルニア・レーズン協会がこれまで構築してきたパートナーシップや数々のプロモーションが実を結び、日本の消費者に広く受け入れられていることを誠に喜ばしく思います」と述べ、両国の業界関係者へ敬意を表しました。

同じく来賓の一般社団法人日本パン工業会 会長理事 飯島 延浩氏には「日本人が好む製パンの原材料はバター、小豆、そしてレーズン、この3つだと考えています。レーズンは製パンにとって大事な原材料なので、カリフォルニア・レーズン協会には、今後も日本の消費者の厳しい目にかなう高品質なレーズンの提供をお願いしたい」とお言葉をいただきました。

また、日本乾果物輸入協会会長 林 則宏氏は、駐日事務所の設立直後から協力してきたこれまでの活動を振り返り「カリフォルニア・レーズンの普及に多大なる功績をあげてきたことに敬意を表します。今後も協力して、より一層、安心、安全でおいしいレーズンのご提供に努めていきたい」と挨拶されました。

その後、全日本パン協同組合連合会会長 西川 隆雄氏より乾杯のご発声をいただき、ご列席の方々には、カリフォルニア・レーズンを使った特別メニューをご堪能いただきました。

歓談の合間には、カリフォルニア・レーズンのプロモーション活動に対し、日頃よりご理解、ご支援いただき、ご貢献をいただいております7団体へ、当協会会長 クリス ガンランド、同プレジデント ゲイリー ショウズより感謝盾の贈呈を行いました。

また、ニュースショー仕立ての特製映像にて、カリフォルニア・レーズンの50年の歴史を会場の皆様と共に振り返りました。“スタジオ”からキャスターが、年表を元にレーズン産業の歴史やレーズン製品の開発を促す積極的な協会活動の軌跡を紹介した他、現場レポートを模してレーズンにまつわる思い出をインタビューするなど、会場の列席者の方にも一緒にご参加いただきました。

さらに、同日、50周年を記念し、レセプションに先駆けて行われた「蒸しパン、スコーン・マフィン グランプリ」の結果発表および表彰式も行われ、入賞者3名へ、当協会 シニアバイスプレジデント ラリー ブラッグ、同駐日代表 ジェフリー マクニールより授賞いたしました(詳細は添付リリース参照)。

最後まで列席者間の交流を楽しむ温かな賑わいが続き、盛会のうちに終了いたしました。



感謝盾贈呈団体: 一般社団法人日本パン工業会、全日本パン協同組合連合会、社団法人日本洋菓子協会連合会、日本乾果物輸入協会、社団法人日本パン技術研究所、学校法人東京綜合食品学園東京製菓学校、学校法人服部学園服部栄養専門学校



ご列席いただいた協会主催コンテストの歴代入賞者

インスタレーション協力:

- チョコレートのピエスモンテ すずき けんすけ 鈴木 兼介氏 (東京製菓学校 洋菓子科 教師)  
第3回(1996年) 洋菓子新製品開発コンテスト アイデア賞受賞者
- 飴のピエスモンテ わかばやし しげる 若林 繁氏 (ル ショコラ ドゥ アッシュ シェフ・ショコラティエ)  
第6回(1999年) 洋菓子新製品開発コンテスト  
カリフォルニア・レーズン大賞受賞者
- 飾りパン まつだ たけし 松田 武司氏 (VIRON 渋谷本店 シェフ・ブーランジェ)  
第20回(2011年) ベーカリー新製品開発コンテスト  
カリフォルニア・レーズンプレミアム賞受賞者



50周年を記念したインスタレーション

このリリースに関するお問い合わせ先:

カリフォルニア・レーズン協会 広報代行: 株式会社つきプランニング (担当: 鈴木、おさだ長田)  
〒105-8608 東京都港区新橋 5-20-3-3F Tel: 03-3437-6051 Fax: 03-3437-6052